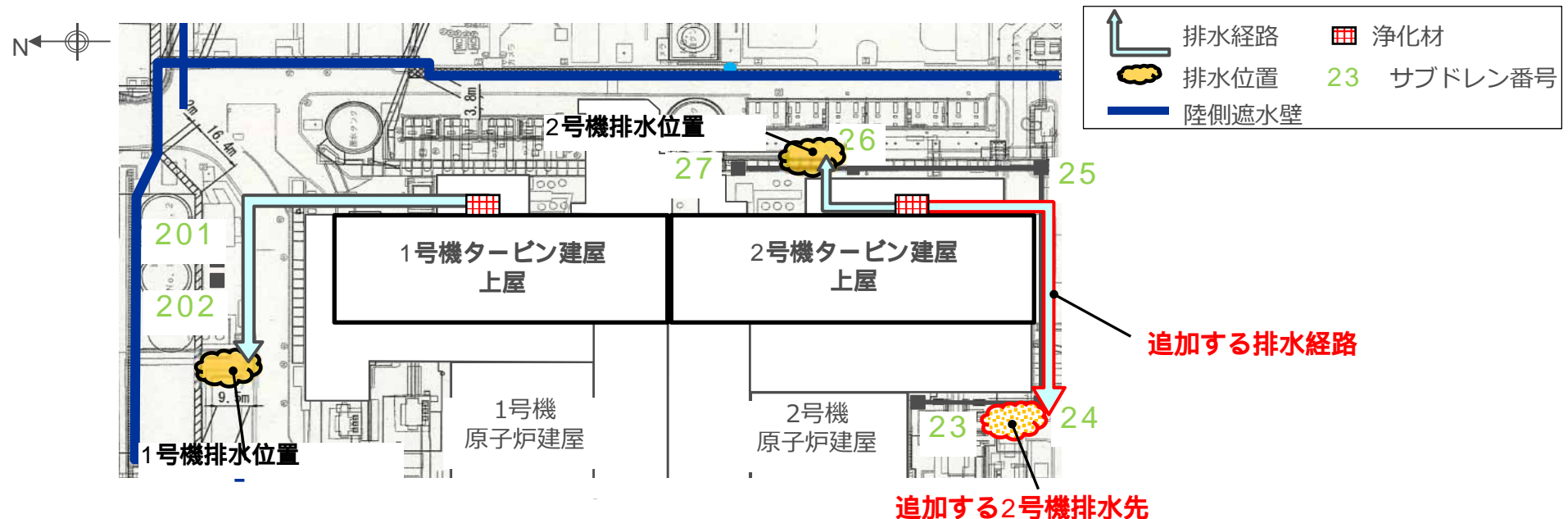


福島第一原子力発電所 2号機タービン建屋 屋根面雨水の排水先の追加について

< 参 考 資 料 >
2 0 2 0 年 6 月 1 1 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 2号機タービン建屋については2017年6月に屋上の汚染源除去対策（ガレキ撤去）が完了しており、同月以降、上屋屋根面の雨水は、浄化材を設置した雨樋を經由して同建屋東側に排水しています。
- 排水後に地表面から浸透した雨水については、陸側遮水壁内側のサブドレンで汲み上げておりますが、豪雨時には同建屋東側のサブドレンに負荷が高くなり、地下水水位の上昇に伴い、建屋流入量が増加し、結果的に汚染水発生量の増加につながる状況となっております。
- 2020年内に汚染水発生量を150m³/日程度に抑制することとしており、当該サブドレンの負荷を分散することで建屋流入量を抑制することを目的に、雨水排水経路である現在の東側の雨樋に加え、2020年6月に西側にも新たに雨樋を設置しました。
- なお、梅雨時期を迎える2020年6月中旬以降、西側への排水を開始する予定です。
- 引き続き、建屋流入量抑制対策について取り組んでまいります。



【参考】屋根対策状況 (2020年6月時点)

- R/B : 原子炉建屋
- T/B : タービン建屋
- Rw/B: 廃棄物処理建屋
- C/B : コントロール建屋
- S/B : サービス建屋

【凡例】

- 雨水浄化材設置完了
- 雨水流入対策予定
- 汚染源除去対策完了
- カバー屋根設置完了
- 陸側遮水壁
- 浄化材

